

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係(☎52-2115)までお知らせください。



富良野沿線交通安全指導員合同研修会開催(6月18日)

富良野地方交通安全指導員連絡協議会の主催による沿線5市町村の交通安全指導員研修会が保健福祉センターみなくるで開催され65名が出席し、基調講演、救急法講習、実技研修などが行われました。また、午後からは、SSキャンペーン事業として交通安全旗の波啓発を道の駅で行い、国道38号線を通行するドライバーに事故防止を呼びかけていました。



富良野地域縦断「無事故の日」旗の波リレー作戦(6月25日)

本格的観光シーズンを前に無事故の日(6月25日)に富良野沿線5市町村のリレー方式(各市町村で時間差による)で旗の波作戦が、富良野地方交通安全指導員連絡協議会の主催により行われ、本町においても町民体育館前の国道38号線沿いにおいて幾寅婦人会、幾寅寿倶楽部の皆さん約30名により交通安全の啓発が行われました。



地域の安全を守るため、5市町村でタスキリレー(7月7日)

上川管内商工会連合会富良野沿線ブロック(曾慶一介ブロック会長)の主催により市町村と商工会、交通・防犯団体の3者によるタスキリレーパレード「安心・安全3本の矢作戦」が実施され、上富良野町から占冠村までの間を関係車両によりパレードを行い、各市町村の境界でタスキリレーしながら、地域の安全・安心をアピールしました。

日本ハムファイターズ稲葉篤紀選手からのバトンリレー(6月25日)

プロ野球「日本ハムファイターズ」の稲葉篤紀選手の地域還元活動「Aiプロジェクト」の一環として昨年の幾寅小学校に続き、本年度北落合小学校へ「リレー用バトン」が贈られました。学校では、地域合同運動会において佐野学校長からメッセージが紹介され、児童にバトンが渡されました。バトンは早速、地域対抗リレーで使用し、選手の皆さんは稲葉選手のように全力疾走していました。



練習の成果を発揮して(6月24日)

第29回富良野沿線老人クラブ選抜ゲートボール大会が町民体育館(雨天により室内)において、各市町村の予選を勝ち抜いた代表16チームが参加し開催されました。大会は4ブロックのリーグ戦で行われ、マチの代表チームとして優勝を目指し、熱戦が繰り広げられました。本町からも町内予選を勝ち抜いた3チームが参加し、大会を盛上げていました。
○本町参加チームの各ブロック別の成績
落合 新生:第3位
金山ひなげし:第3位
幾寅ひまわり:敢闘賞



健やかな成長を願って(6月29日)

富良野ライオンズクラブ南富良野支部(下田憲代表)より放課後児童クラブ(ジャングルクラブ)へ絵本や玩具などが贈呈されました。



指導員の皆さんは「子ども達が喜ぶものばかりですので、これから大切に活用させていただきます」とお礼を述べられました。

ツーリングでカヌーを満喫(6月18・25日)

教育委員会主催により町民カヌー教室がかなやま湖で2日間開催され、カヤックやカナディアンカヌーの基礎知識や基本動作を学びました。



また、25日は富良野沿線社会教育ネットワーク事業と併せて実施し、沿線住民も参加し湖上でのカヌーツーリングを満喫していました。

シリーズ 学校だより 103

各学校の取り組みを紹介します。

▶▶北落合小学校▶▶▶



笑顔いっぱい絵本の世界の中へ!

かがやく私を表現しよう
北落合小学校は、今年度、児童数が5名に増え『キラキラかがやく私を表現しよう』を合い言葉に活気あふれるスタートを切りました。毎日の学習はもちろん、全校朝の会、中休みの読み聞かせなど、表現力向上の取り組みを積極的に展開中です。この一年、子どもたちがキラキラとかがやく場面と支えを工夫して、考える力と言葉力を鍛え、確かな学力と豊かな表現力をしっかりと身につけさせたいと考えています。

6月25日、例年のない寒さの中にもかかわらず、多くの来賓・保護者・地域の方々に参加いただき、ふれあい運動会を行うことができました。子どもたちは「全力でみんな楽しく汗流そう!」のテーマのもと、終始きびきびとした動きで、一杯の活躍を見せてくれました。まさにシンボルマークのような「炎」となって、この日の寒さを吹き飛ばしてくれたのではないかと思います。たくさんのご声援や運営へのご協力に対し、心より厚くお礼申し上げます。



力を合わせて、よいしょ、よいしょ!

ふれあい運動会大盛況

かがやく私を表現しよう

わんぱくスイミング教室

(7月3・4日)

公民館幾寅分館主催で、小学生を対象にした水泳教室が開催されました。プールがオープンした



この時期に例年行っており、今年も延べ37人の子どもたちが参加し、3グループに分かれプールでのマナーや水泳技術の指導などが楽しく行われました。

車椅子が寄贈されました(7月1日)

旭川地方道新会(伊藤智夫会長)では空き缶のリングブルを各道新販売所で回収し、福祉施設や団体などに車椅子を寄贈する活動が行われています。この活動



の一環でこの度、町社会福祉協議会へ車椅子1台が贈呈され、東会長から、「大切に利用させていただきます」とお礼を述べられました。また、贈られた車椅子は、くるみ園において利用されることとなりました。